

校報	学校教育目標	思いやりのある子ども 進んで学ぶ子ども たくましい子ども
見前小だより 第5号		令和7年9月30日（火）発行

2学期大切にしていること

2学期が始まって1か月半過ぎました。子ども達は、元気いっぱい学校生活をおくっています。笑顔いっぱいの学校にするために2学期大切にしたいことは、次の2点です。

1. 話を最後まで 黙って、考えながら聞く・素早い集合・無言移動の徹底

まなびフェスト⑧にも位置づいている「命を守るための行動」です。昨今起きている様々な危険な場面を想定し、学校では多様な訓練を行っていますが、1番大切にしているのは、日々の生活です。普段から話を聞くこと・移動教室も自分達の命を守ることにつながっていることを意識して取り組んでいます。

2. ペプトークで思いやりの気持ちを育む～人を笑顔にする「思いやり算」～

人を笑顔にする算数。思いやり算が得意になるように各学年工夫して取り組んでいます。

+ …… たすけあう
 - …… ひきうける
 × …… 声をかける
 ÷ …… わけあう・いたわる



世界陸上から学んだこと

先週閉幕した世界陸上東京大会。多くの人がテレビを通して、世界トップアスリートの力に魅了されたと思います。私は34年前の東京大会・18年前の大阪大会に続き、今回は4日間国立競技場に行きました。大歓声と熱気は過去2回と同じですが、変化していたのは日本人選手の活躍です。また、選手のスポーツマンシップに感動しました。勝敗は確かにありますが、国を超え、一人一人を称え合う姿に心が動かされました。大会を支える、競技役員や多くのボランティアスタッフにも目がいきました。スポーツは「する」・「みる」だけでなく「支える」ことが、よりスポーツ文化を深めていると感じました。

私は、陸上競技の短距離をやっていました。教員となってからは岩手の陸上競技の普及育成に携わっています。13年前から全国小学生陸上岩手県代表の監督をやっていますが、代表選手に必ず言います。

「みんなから、応援される人になろう！」

どんなに素晴らしい競技力があったとしても、自己中心的な振る舞いをしたりや基本的な生活が乱れていたりするようでは本来の目的に達することはできません。自分が夢中になれるものがあり、できる幸せに感謝し、一生懸命やることで人間性を磨くことが本当の目的だと思います。岩手が誇るメジャーリーガーの先輩達が素晴らしいモデルです。思いやり算との関係性を感じる4日間でした。



素敵なお客様が



9月8日（月）。



思いもかけぬお客様が来校されました。

見前小学校を創設された宮崎求馬先生のご子孫・宮崎道名さんです。

ある方から、「求馬さんの写真が見前小学校の校長室に飾ってあるよ。」
と教えられ、訪ねてくださったとのこと。

道名さんは現在神奈川県にお住まいですが、月に数日間、岩手県でお仕
事をされているのだそうです。

いつかじっくりお話を聞きしたいものです。

見前小学校の日々をブログで紹介中。



スマートフォンで
読み込んでみて
ください！



昨年度、岩手日報社の「教えてメジャーリーガー」に
応募しておりました。これは、現役メジャーリーガーが
子どもたちの自由な質問に答えてくれる企画です。

見前小学校児童の質問にも、菊池雄星選手をはじめとする
たくさんの選手が答えています。

「教えてメジャーリーガー」ホームページから、どうぞ
ご覧ください。



見前小学校区が発表

教育振興運動は、岩手県で長年行われている
活動です。子ども・家庭・学校・地域・行政の
5者が、それぞれの役割と責任を果たし、連携
して地域の教育課題の解決に取り組む活動で
す。盛岡第VIブロックの発表会は10月4日の
9時30分よりキャラホールで行われます。

今年度は見前小学校区・羽場小学校区・見前
中学校区の発表です。ご協力いただいた皆様、
ありがとうございました。



9月25日に、車による
引き渡し訓練を実施しま
した。授業参観日の前日
でしたが、多くの方々に
ご協力いただきました。
ありがとうございます。



今回の訓練からわかつ
たことをもとに、より安
全な引き渡しについて、
さらに検討してまいりま
す。